

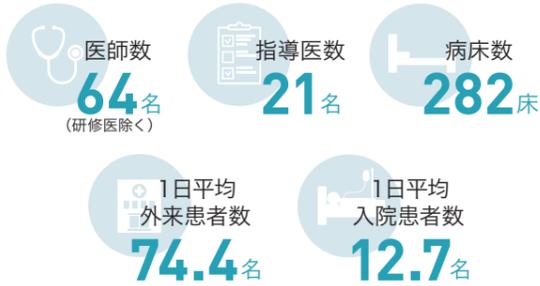


- ▶ 研修医数 1年目 7名、2年目 7名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 11名
- ▶ 研修医の主な出身大学

岐阜大学、東海大学、鳥取大学、日本医科大学、中国医科大学、東京慈恵会医科大学、東邦大学、和歌山県立医科大学、近畿大学、東京大学、東北大学、金沢大学、帝京大学

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 有



■ 診療科

内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、内分泌代謝科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、肛門外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、精神科、リハビリテーション科、麻酔科、消化器外科、救急科、病理診断科

■ 主な認定施設

日本糖尿病学会認定教育施設、日本内分泌学会認定教育施設、日本腎臓学会研修施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設

■ 当院の魅力

研修プログラムの特徴

1年目の総合内科の研修は連続して4ヶ月の研修を行うことで、入院から退院まで多くの症例を一連で経験することができます。

また、整形外科を必修としています。地域病院として腰痛や関節痛を訴える患者さんが多く、プライマリ・ケアの部分で今後の専門分野によらず、初期研修のうち2ヶ月は経験をしてほしい、との思いから必修として組み込んでいます。

2年目の地域医療研修は3ヶ月を必修とし、都内100床規模の協力型病院で地域に密着した研修として組み込んでおり、外来診療や訪問診療を通じてプライマリ・ケアを学ぶ機会としています。

外来研修は、1年目後半の8ヶ月と地域医療の3ヶ月で週1単位の外来枠を持つようにしているため、初診の患者さんや慢性疾患の管理を継続的に学ぶことができます。

研修指導の特徴として、指導専任の医師を配置しています。総合内科は週2回、救急は週1回、それぞれベッドフリーの指導専任医が指導にあたっています。指導医がベッドを受け持っている、どうしても忙しいタイミングなどで相談しにくい場面も出てきますが、指導専任医を配置することで、ショートプレゼンなどを通じてコンサルトを行ったり、じっくりと時間をかけて問題解決を行うことができます。



女性医師支援

子育て中の方は、当直や勤務時間についてはプログラム修了を目指して相談に応じます。

- ・院内保育…ここに保育園では、0～3歳児までのお子さんをお預かりできます。時差にも対応し、安心して働ける保育体制を整えています。
- ・病児保育…0～9歳までのお子さんをお預かりできます。(感染症又は感染症疑いは除く)

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

当院は平日随時・希望内容相談・交通＆宿舎補助ありで受け入れています。まずは下記までお問い合わせください。



web 研修説明会を平日の希望日時に開催しています。詳しくはホームページをご覧ください。

連絡先

病院名 みさと健和病院
所属 医局事務室 医学生担当
住所 〒341-8555 三郷市鷹野4-494-1
TEL 048-955-7171 (代表)
FAX 048-948-0007
E-mail gakusei@kenwa.or.jp
URL http://gakusei.kenwa.or.jp/
アクセス JR/新成松戸駅よりバス12分
JR/京成金町駅よりバス15分
つくばエクスプレス三郷中央駅よりバス12分

研修責任者からメッセージ



みさと健和病院院長/初期研修プログラム責任者

岡村 博

私たちはずっと初期研修を大切にしてきました。1994年に臨床研修病院の指定をうけましたが、それ以前より研修医を受け入れてきました(私もその一人です)。当時、大学病院が主流の中、最小の病床数で指定を受けることができたのは、外来研修や往診研修など、地域に密着した医療そのものの研修が認められたのだと思います。研修制度に移行後、このような地域病院ならではの研修を大切にしつつ、必修科目を網羅するプログラムを作ってきました。

どんな医師になりたいのか、自分の進むべき方向を決める時期が初期研修期間であり、臨床研修病院はその手助けをしてくれるところです。初期研修の目標は医療技術の獲得だけではなく、チーム医療の実践、患者さん目線の思考、取り巻く環境への配慮など、bio-psycho-socialといわれる複合的な問題解決能力の獲得も含まれます。

地域の人たちの健康を守り、病める人たちの支えになりながら、実は自分たちも成長させてもらっているのです。臨床研修というものはずっと続いていくものであり、そういう視点を大切にしながら、常に on the job trainingの気持ちを持ち続けたいものです。

先輩研修医の声



初期研修医 2年目

小池 悠太郎

生活環境・経済的背景に関わらず、地域の一人でも多くの患者さんに平等に医療を届けることができる病院の基本理念に惹かれて当院を志望しました。

上級医の先生方をはじめ、看護師や薬剤師などコ・メディカルの方々もとても丁寧に指導してくださるので、分からないことや不安に思っていることを都度相談できる環境はとてもありがたいと感じています。研修医にただ裁量権を与えるだけではなく、その判断一つ一つを振り返り、指導していただける環境に大変魅力を感じています。

研修プログラムの特色

みさと健和病院は大都市近郊の埼玉県三郷市にあり、第二次救急医療を担う中核的医療機関です。研修理念を「良識のある社会人、思いやりのある医療人としての成長を促す。将来の専門にかかわらず、医師としての基本的な診療能力と学習能力を習得できるように援助する」と掲げ、地域第一線医療機関でのプライマリ・ケア、在宅医療の先駆的実践、総合診療を中心とした内科研修、必修としている整形外科研修、外来研修、往診研修などに力を入れています。

三郷市は近くに大規模な医療機関が少ないこともあって、当院は老人はもちろん若青年・婦人・小児をめぐる多様な疾患の医療を担っています。特に、第二次救急における当直研修などを通じて、救急疾患・外傷の初期対応の習得もできる事が特徴です。

プログラム例 卒後臨床研修 地域医療総合プログラム / 募集定員: 8名

| | 1-4週 | 5-8週 | 9-12週 | 13-16週 | 17-20週 | 21-24週 | 25-28週 | 29-32週 | 33-36週 | 37-40週 | 41-44週 | 45-48週 |
|-----|------------|------------|-----------|------------|------------|--------|----------|----------|----------|--------|------------|--------|
| 1年目 | 総合内科 (2ヶ月) | | 外科 (2ヶ月) | | 総合内科 (4ヶ月) | | | | 救急 (2ヶ月) | | 整形外科 (2ヶ月) | |
| 2年目 | 小児科 (1ヶ月) | 産婦人科 (1ヶ月) | 精神科 (1ヶ月) | 地域医療 (3ヶ月) | | | 救急 (1ヶ月) | 選択 (5ヶ月) | | | | |

- ・ローテーションは順不同です。
- ・外来は年間を通して並行研修で行います。
- ・都市型中小病院での導入研修も選択できます。
- ・必修科目(内科計6ヶ月、外科2ヶ月、整形外科2ヶ月、救急2～3ヶ月+救急外来・当直研修4週、地域医療3ヶ月、小児科1ヶ月、産婦人科1ヶ月、精神科1ヶ月)
- ・選択科目(上記科に加えて、内分泌内科、消化器内科、泌尿器科、麻酔科、病理科、皮膚科、その他外部病院での選択科あり)

■ 研修医の処遇

| | | | |
|-----|---|------|--|
| 給与 | 1年目:355,050円/月、2年目:406,600円/月 ※全て住宅・固定時間外手当込み | 勤務時間 | 8時30分～17時30分 当直 あり(2～3回/月) |
| 諸手当 | 当直手当(時間外手当として支給) 家族手当(最初の1名12,000円、以降1名につき8,000円) | 休暇 | 完全週休2日制(土日祝日勤務の場合代休あり) 夏期休暇(5日間)、年末年始休暇(5日間) 年次有給(1年目:10日、2年目:14日) 特別休暇、時間有給休暇他あり |
| 保険 | 組合健保(東京医療健保組合) 厚生年金保険 雇用保険あり 労災保険適用 厚生年金基金等企業年金なし 医師賠償責任保険(病院において加入) | 宿舎 | 希望者は病院徒歩2分の寮に入寮可 |
| | | その他 | ・給与は住宅・固定時間外手当込み ・法人独自の共済制度あり ・学会保障あり (費用:年間10万円まで、日数:年間7日まで) ・採用された研修医に対し、月の給与額を上限として引越し料金を支給 |

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 松戸市立総合医療センター
- 東京女子医科大学病院東医療センター
- 柳原病院
- 豊島病院
- 東京都健康長寿医療センター
- グループ内医療機関多数

